

## 第64回追高祭開催

「友情を育んだ2日間」

7月15、16日の両日、第64回追高祭が開催されました。

今年のテーマは、「日々草〜楽しい思い出〜」。花言葉から引用された「楽しい思い出」や「友情」を追高生のみんなが共有できるように設定されました。

1日目は、追高祭の準備期間を紹介するオープニングスライドショーに始まり、開祭式では、宮原校長が「準備が順調に進んできたのは、みんなが協力して進めてきた



モザイクアートで垂れ幕を制作

成果。学校祭は追高の良い所を見てもらう機会なので、来校される方が楽しめるような学校祭にしよう」と挨拶しました。その後、全校生徒で追高祭テーマの日日草をイメージしたモザイクアートの制作・完成と、全長約12メートルの垂れ幕の披露を行い、生徒たちからはその出来栄えに大きな歓声が上がっていました。午後からは、クラス対抗のラオケコンテストや有志による特別企画が行われました。

2日目の一般公開日には、午前中に「公開企画」としてお化け屋敷、射的や輪投げ、

ヨーヨーすくいなどの参加型アトラクションをはじめ、音楽選択生徒によるピアノ演奏発表、福祉実習室ではとろみ調整食品や点字体験などの企画が行われました。また、PTA主催企画「和太鼓・三味線演奏会」は、奏者である本校OBのSHINTAさん、Masahiroさんの奏でる楽曲に、観衆の皆さん全員が魅了されました。

午後は、音楽部発表や生徒会企画、そして、ダンスや歌等のパフォーマンスでクラスアピール発表を行いました。昼食は恒例のPTA協力による「母ちゃん食堂」。保護者の方の手作りメニューであるカレー、牛丼、フランクフルト等に生徒たちは「おいしい！」を連発。この日の来校者数は100名を超える盛況ぶりでした。

閉祭式では、生徒会長の藤田さんが、「みんなが楽しかったと思える追高祭になった。生徒一人ひとりはもちろん、先生方の協力あつての成功だった。大変だった準備も本当に楽しかった。すべての

人達の協力に感謝します。追高祭の取り組みを通して追高生の絆や友情が深まった。成功はみんなの力、ありがとう」と感動の涙を浮かべて気持ちを述べてくれました。

「成功の喜びが仲間への友情や感謝の気持ちに変わる。」これが追分高校の学校祭と言えます。最後にこの紙面をお借りして、町民の皆様のご協力に感謝申し上げます。



クラスアピールのステージ発表

▼8月の行事予定

17日 夏季休業終了

18日 全校集会

29〜31日 前期期末考査

▶皆さんのご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)

〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地

ホームページで「追校の今」をご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会う、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校